

合否印

合 否

一般部

二段・三段(イ)

受験段に〇印

試験場

三年四組

氏名

問一 解答欄

模範答案

楷書	林泉皆道情
行書	林泉皆道情
草書	林泉皆道情
隸書	林泉皆道情

問二 解答欄

神融筆暢

問三 解答欄

1	隸書体
2	歐陽詢
	虞世南
	褚遂良

問四 解答欄

日本人は恥辱感を原動力にしている。明らかに定められた善行の道標に従えないこと、いろいろの義務の均衡をたもち、または起こりうべき偶然を予見することができないこと、それが恥辱である。恥は徳の根本であると彼らは言う。ルースベネダイクトの文章より

問五 解答欄

山越えて
そらわやうゆく遠鳴の
風ある日なるま
やとんたうら花

荒城の月 古井晩翠

春高樓の花の宴

めぐら盆影たして

千代の松が枝わけ出でし

むかしの光 今びつこ

秋陣堂の霜の色

鳴き行く雁の数見せし

植うるる木に照りえびし

むかしの光 今びつこ